

令和元年 10 月 21 日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

令和元年 9 月 2 日付け厚生労働省発生食 0902 第 3 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくダイアジノンに係る食品中の農薬及び動物用医薬品の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

ダイアジノン

今般の残留基準の検討については、魚介類への基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：ダイアジノン [Diazinon (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

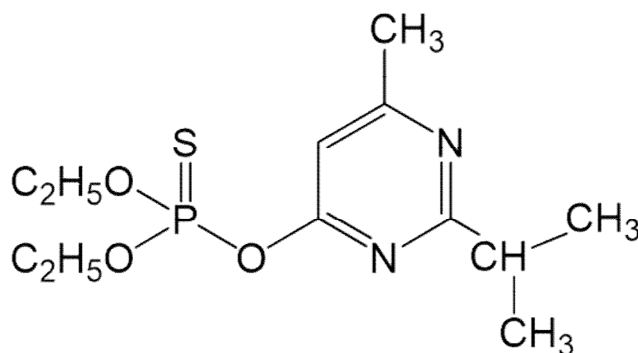
有機リン系殺虫剤である。アセチルコリンエステラーゼを阻害し、神経系の刺激伝達機構をかく乱することにより、殺虫作用を示すと考えられている。海外では、動物用医薬品としても用いられている。国内では動物用医薬品としての承認はない。

(3) 化学名及びCAS番号

O,O-Diethyl *O*-(2-isopropyl-6-methylpyrimidin-4-yl) phosphorothioate (IUPAC)

Phosphorothioic acid, *O,O*-diethyl *O*-[6-methyl-2-(1-methylethyl)-4-pyrimidinyl] ester (CAS : No. 333-41-5)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₁₂ H ₂₁ N ₂ O ₃ PS
分子量	304.35
水溶解度	6 × 10 ⁻² g/L (22°C, pH 7.0)
分配係数	log ₁₀ P _{ow} = 3.42 (24°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

① 40.0%ダイアジノン乳剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数		
キャベツ	アオシ コガ アブラムシ類	1000倍	100～300 L/10 a	収穫30日 前まで	2回以内	散布	2回以内		
	キジノミハシ	1200倍							
ブロッコリー カリフラワー	アオシ コガ アブラムシ類	1000倍							
	キジノミハシ	1200倍							
	ホシマルトビムシ	700倍							
ほうれんそう	アブラムシ類	1000倍		収穫21日 前まで			2回以内	散布	2回以内 (は種時及びは種前の 土壌混和は合計 1回以内)
ねぎ わけぎ	アブラムシ類 ネギコガ	700～1200倍 1000～2000倍 700倍							
	アザミマ類								
	ネギハモグリハエ タマネギハエ								
あさつき	アブラムシ類 ネギコガ	1000倍		収穫30日 前まで			2回以内	散布	2回以内
	アザミマ類	700～1200倍							
	ネギハモグリハエ	1000～2000倍							
	タマネギハエ	700倍							
たまねぎ	アブラムシ類	1000倍		収穫21日 前まで			2回以内	散布	2回以内
	アザミマ類	700～1200倍							
	ネギハモグリハエ	1000～2000倍							
	タマネギハエ	700倍							
なす (露地栽培)	アブラムシ類 テントウムシダマシ	1000倍	収穫開始 3日前まで	3回以内	散布	3回以内 (粒剤の生育期の処理 は2回以内)			
	ハダニ類	1000～2000倍							
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ	1000倍	収穫7日 前まで			3回以内	散布	3回以内 (種子粉衣は1回以内、 粒剤は2回以内)	
さやいんげん	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫開始 7日前まで						

① 40.0%ダイアジノン乳剤 (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	
さやえんどう 実えんどう	アブラムシ類	1000倍	100～300 L/10 a	収穫開始 14日前まで	3回以内	散布	6回以内 (種子粉衣は1回以内、 粒剤は2回以内、 乳剤は3回以内)	
	ハダニ類	1000～2000倍						
すいか メロン	アブラムシ類	1000倍		収穫14日 前まで	4回以内		2回以内	4回以内 (粒剤の生育期の処理 は3回以内)
	ハダニ類	1000～2000倍						
	キボシマルトビムシ	700倍						
きゅうり	アブラムシ類	1000倍		1000～2000倍	植付時		1回	2回以内
	ハダニ類	1000～2000倍						
さとうきび	カンシャコバネガカメムシ カンシャワタアブラムシ タカラマルカゲラムシ クサゼミ	800～1000倍			収穫90日前 まで			
ねぎ わけぎ	ネギアザミウマ	1000倍	200 L/10 a	収穫21日前 まで	2回以内	2回以内		
あさつき				収穫30日前 まで				
たまねぎ				200～300 L/10 a			収穫21日前 まで	
茶				1000 L/10 a	最終摘採後 ～12月まで		1回	1回

② 34.0%ダイアジノン水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
りんご	モモシクイ ナシメシクイ リンゴハナバウムシ モンシロトビムシ リンゴフユシャク リンゴワタムシ	1000倍	200～700 L/10 a	収穫30日前 まで	4回以内	散布	4回以内
	クワコカゲラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類 オオクワコカゲラムシ若齢幼虫 ナシクンバイ キンモンホガ アメリカシロヒトリ	1000～ 1500倍					

② 34.0%ダイアジノン水和剤 (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	
日本なし 西洋なし	クロナカイラムシ類若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類 ナゲルバイ アメリカシロヒトリ	1000～ 1500倍	200～700 L/10 a	収穫14日前 まで	6回以内	散布	6回以内 (休眠期は1回以内)	
	モンシロトクガ シンクイムシ類	1000倍						
もも	シンクイムシ類	1000～ 1500倍		収穫前日ま で	4回以内			4回以内
	クロナカイラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類							
ネクタリン	シンクイムシ類	1000倍		収穫21日前 まで	3回以内			3回以内
	クロナカイラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類	1000～ 1500倍						
おうとう	アブラムシ類 ハマキムシ類 ナゲルバイ アメリカシロヒトリ	1000～ 1500倍		収穫14日前 まで	2回以内		2回以内	
	ウメシロカイラムシ	1000倍						
小粒核果類 (すももを除く)	シンクイムシ類	1000～ 1500倍		収穫21日前 まで	4回以内		4回以内	
	アブラムシ類 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ							
すもも	シンクイムシ類	1000倍						
大粒種ぶどう	クロナカイラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類 ミドリヒメコバイ	1000～ 1500倍		収穫30日前 まで	2回以内		2回以内	
かき	オウコナカイラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ	1000倍	収穫45日前 まで	4回以内	4回以内			
キャベツ	キバシマルヒメムシ	600倍	100～300 L/10 a	収穫30日前 まで	2回以内	2回以内		
	コナガ アブラムシ類	2000倍						
	キスジノミハムシ アオムシ	1000倍						
ブロッコリー カリフラワー	キバシマルヒメムシ	600倍			2回以内 (粒剤の生育期の 処理は1回以内)			
	コナガ アブラムシ類	2000倍						
	キスジノミハムシ アオムシ	1000倍						

② 34.0%ダイアジノン水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数		
ほうれんそう	アブラムシ類	2000倍	100～300 L/10 a	収穫21日前 まで	2回以内	散布	2回以内 (は種時及びは種前の 土壌混和は合計1回以 内)		
ねぎ	アザミウマ類	600～1000倍					2回以内	2回以内	2回以内
	ネギハモグリバエ	600倍							
たまねぎ	アブラムシ類	2000倍					1000倍	3回以内	3回以内
	アザミウマ類	1000倍							
にんにく	ネギコガ			収穫14日前 まで	4回以内		4回以内 (粒剤の生育期の処理 は3回以内)		
しろり	キョウショクトビムシ	600倍						4回以内	4回以内
	アブラムシ類	2000倍							
	ハダニ類	600～1000倍							
すいか メロン	キョウショクトビムシ	600倍		収穫21日前 まで	3回以内		3回以内 (粒剤の生育期の処理 は2回以内)		
	アブラムシ類	2000倍							
	ハダニ類	600～1000倍							
かぼちゃ	キョウショクトビムシ	600倍		収穫開始 3日前まで	3回以内		3回以内 (植付前の土壌混和は 1回以内)		
	アブラムシ類	2000倍							
	ハダニ類	600～1000倍							
なす (露地栽培)	テントウムシダマシ アブラムシ類	2000倍		収穫7日前 まで	3回以内		3回以内 (植付前の土壌混和は 1回以内)		
	ハダニ類	1000倍							
ばれいしょ	テントウムシダマシ アブラムシ類	2000倍							

③ 25.0%ダイアジノンマイクロカプセル剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	ナジロシタバ	1000倍	100～300 L/10 a	収穫30日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (マイクロカプセル剤 の植付前の処理は1回 以内、マイクロカプセ ル剤の散布は2回以 内、粒剤の散布は2回 以内)
	かみんしょ やまのいも さといも らっかせい いちご	コガネムシ類幼虫	50倍	100 L/10 a	植付前	1回	全面土壌 混和又は 畝立て前 作条散布
25倍							
25～50倍							
50倍			は種前		全面土壌 混和		2回以内
25倍			定植前 (本圃)				
50倍			植付時 (仮植床)				
500倍	1000 L/10 a	ポット育苗時	育苗ポツ ト灌注				

④ 10.0%ダイアジノン粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	
あずき	タネバエ	3 kg/10 a	は種時	1回	作条土壌混和	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種時の処理は 1回以内、生育期の処 理は3回以内)	
いんげんまめ						3回以内 (種子粉衣は1回以内、 粒剤は2回以内)	
豆類 (種実、ただし、だい ず、あずき、いんげ んまめ、らっかせい を除く)						4回以内 (種子粉衣は1回以内、 粒剤は3回以内)	
だいず	フタスジヒメハムシ	1.5~3 kg/10 a	収穫30日前 まで	4回以内	無人ヘリコプタ ーによる散布	6回以内 (種子粉衣は1回以内、 粒剤は5回以内(生育 期の処理は4回以内))	
	マメシクイガ				散布		
	ネリムシ類				5回以内 土壌表面散布		
えだまめ	タネバエ	3 kg/10 a	は種時	1回	作条土壌混和		
	ネリムシ類		収穫30日前 まで	5回以内	土壌表面散布		
ほうれんそう	タネバエ	3~5 kg/10 a	は種時	1回	作条土壌混和		2回以内 (は種時及びは種前の 土壌混和は 合計1回以内)
だいこん はつかだいこん	ネリムシ類	3 kg/10 a	収穫21日前 まで	2回以内	土壌表面散布	2回以内 (生育期は1回以内)	
はくさい			定植時	1回	全面土壌混和	1回	
キャベツ					土壌表面散布		
レタス	ネリムシ類	3 kg/10 a	定植時	1回	全面土壌混和 又は 作条土壌混和 土壌表面散布	2回以内	
ねぎ わけぎ あさつき たまねぎ	タネバエ				は種時		作条土壌混和
にんじん	ネリムシ類		3 kg/10 a	定植時	2回以内	土壌表面散布	2回以内 (は種前及びは種時は 合計1回以内、生育期 は1回以内)
				は種時及び 生育期ただ し収穫90日 前まで			
カリフラワー ブロッコリー			収穫30日前 まで			2回以内(粒剤の生育 期の処理は1回以内)	

⑤ 5.0%ダイアジノン粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
ブルーベリー		6 kg/10 a	収穫14日前まで	2回以内	株元土壌混和	2回以内
かんしょ	コガネシジミ類幼虫	4~6 kg/10 a	収穫30日前まで	3回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土	3回以内（マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内）
			植付前	1回	全面土壌混和又は作条土壌混和	
ばれいしょ	ケラシジミ類		は種時又は定植時	2回以内		
キャベツ	タネハエシジミ類	6 kg/10 a	定植時	1回	全面土壌混和 土壌表面散布	2回以内
	コガネシジミ類幼虫		収穫30日前まで	2回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土	
ブロッコリー カリフラワー	ケラシジミ類	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時		全面土壌混和又は作条土壌混和	2回以内（粒剤の生育期の処理は1回以内）
	シジミ類	6 kg/10 a	定植時	1回	土壌表面散布	
レタス	ケラシジミ類	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和又は作条土壌混和	2回以内
非結球レタス	コガネシジミ類幼虫	6 kg/10 a	定植時	1回	土壌表面散布	
はくさい	シジミ類	4 kg/10 a				1回
	シジミ類	6 kg/10 a	定植時			
トマト ピーマン	ケラシジミ類	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和又は作条土壌混和	3回以内 (生育期は2回以内)
	コガネシジミ類幼虫		収穫開始10日前まで	3回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土	
なす	ケラシジミ類	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和又は作条土壌混和	3回以内 (粒剤の生育期の処理は2回以内)
	シジミ類		収穫開始3日前まで	3回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土	

⑤ 5.0%ダイアジノン粒剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
とうがらし類	ケ ネリムシ類	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和 又は 作条土壌混和	3回以内 (生育期は2回以内)
	コカネシ類幼虫		収穫開始14日前まで	3回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土	
豆類 (種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、らっかせいを除く)	タネハエ	4 kg/10 a	は種時		1回	作条土壌混和
	コカネシ類幼虫 タネハエ	4~6 kg/10 a	収穫30日前まで	5回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土	
マシクイカ カムシ類 シロイモジ マタラメイカ ダイズサヤマハエ フタスジヒメムシ ネリムシ類	6 kg/10 a				4回以内	散布
タネハエ	4 kg/10 a			は種時	1回	作条土壌混和
あずき	コカネシ類幼虫	4~6 kg/10 a	収穫60日前まで	4回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土	
いんげんまめ	タネハエ	4 kg/10 a	は種時	2回以内	作条土壌混和 又は 作条処理して軽く覆土	3回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)
らっかせい	コカネシ類幼虫	4~5 kg/10 a	は種前	1回	全面土壌混和 又は 作条土壌混和	
	タネハエ	4 kg/10 a			作条土壌混和	

⑤ 5.0%ダイアジノン粒剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、さやえんどう、実えんどうを除く)	タネバエ	4 kg/10 a	は種時	1回	作条土壌混和	3回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)
	コガネシジメ類幼虫	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和 又は 作条土壌混和	
さやえんどう 実えんどう	タネバエ	4 kg/10 a	は種時	1回	作条土壌混和	6回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内、乳剤は3回以内)
	コガネシジメ類幼虫	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和 又は 作条土壌混和	
えだまめ	コガネシジメ類幼虫 タネバエ		6 kg/10 a	収穫30日前まで	5回以内	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 作物生育中：作条処理して軽く覆土
	ネリムシ類	土壌表面散布				
ねぎ わけぎ あさつき	コガネシジメ類幼虫	4~6 kg/10 a	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和 又は 作条土壌混和	2回以内
たまねぎ			タネバエ タマシバエ ケラ コオロギ		3~5 kg/10 a	
	葉たまねぎ	コガネシジメ類幼虫	4~6 kg/10 a	は種時	1回	全面土壌混和
タネバエ タマシバエ ケラ コオロギ		3~5 kg/10 a	定植時			
コガネシジメ類幼虫		4~6 kg/10 a				
ほうれんそう	タネバエ	6 kg/10 a	は種時		作条土壌混和 又は 土壌表面散布	2回以内 (は種時及びは種前の土壌混和は合計1回以内)
	ヒメクロユスリカ		は種前		土壌混和	

⑤ 5.0%ダイアジノン粒剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
すいか メロン	コガネシジメ類幼虫	4~6 kg/10 a	収穫14日前まで	4回以内	作付前：全面 土壌混和又は 作条土壌混和 作物生育中： 作条処理して 軽く覆土	4回以内 (粒剤の生育期の処 理は3回以内)
	ケラ ネリムシ類					
にがうり	コガネシジメ類 タネバエ ネリムシ類	6 kg/10 a	は種時 又は 定植時	2回以内	全面土壌混和 又は 作条土壌混和	2回以内
きゅうり	ケラ ネリムシ類 コガネシジメ類幼虫 タネバエ					
かぼちゃ	ケラ ネリムシ類	4~6 kg/10 a	収穫21日前 まで	4回以内	作付前：全面 土壌混和又は 作条土壌混和 作物生育中： 作条処理して 軽く覆土	4回以内 (粒剤の生育期の処 理は3回以内)
	コガネシジメ類幼虫					
かぶ	キジノミハムシ	6 kg/10 a	収穫45日前 まで	2回以内	は種時： 作条散布 作物生育中： 株元散布 土壌表面散布	2回以内 (生育期は1回以内)
	ネリムシ類		出芽時			
だいこん はつかだいこん	コガネシジメ類幼虫 ケラ タネバエ ネリムシ類	4~6 kg/10 a	は種時	1回	全面土壌混和 又は 作条土壌混和 土壌表面散布	2回以内 (生育期は1回以内)
	ネリムシ類	6 kg/10 a	生育期 た だし、収穫 21日前まで			
	キジノミハムシ		は種時及び 生育期 た だし、収穫 21日前まで	2回以内	は種時：作条 土壌混和 作物生育中： 株元土壌混和	
にんじん	ネリムシ類		は種前	1回	全面土壌混和	2回以内 (は種前及びは種時 は合計1回以内、 生育期は1回以内)

⑤ 5.0%ダイアジノン粒剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	
未成熟 とうもろこし	アワメカ ^g	4~6 kg/10 a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内	
	ネキリムシ類	6 kg/10 a	出芽時	1回	土壌表面散布		
とうもろこし (子実)	アワメカ ^g	4~6 kg/10 a	収穫60日前 まで	2回以内	散布		
	コガネムシ類幼虫		植付時 (仮植床) 定植時 (本圃)		土壌混和		
非結球あぶら な科葉菜類(こ まつな、みず な、ケール、ひ ろしまなを除 く)	ケ キシジノミハムシ	6 kg/10 a	は種時	1回	全面土壌混和	1回	
	ネキリムシ類		は種時又は 定植時				
こまつな	ケ キシジノミハムシ		は種時				
	ネキリムシ類		は種時又は 定植時				
みずな	ケ		出芽時		土壌表面散布		
	キシジノミハムシ ネキリムシ類		は種時 は種時又は 定植時				
ひろしまな	ケ キシジノミハムシ		は種時		全面土壌混和		
	ネキリムシ類		は種時又は 定植時				
	ダイコンムシ ネキリムシ類		定植時				
なばな	ケ ネキリムシ類 コガネムシ類幼虫		は種時				
はなっこりー	ネキリムシ類		4 kg/10 a		定植時		作条土壌混和

⑤ 5.0%ダイアジノン粒剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
ふき	フキアブラムシ	4 kg/10 a	収穫30日前まで	3回以内	株元散布	3回以内
ふき (ふきのとう)			萌芽前、 ただし収穫 150日前ま で	2回以内		2回以内
食用ゆり	クハバネ科ノコバネ類	6 kg/10 a	植付時	1回	作条土壌混和	2回以内 (植付時は1回以内、 植付後は1回以内)
			植付後、収 穫30日前ま で		株元土壌混和	
たらのき	ネリムシ類	6 kg/10 a	種根定植後 ～萌芽前	1回	土壌表面散布	2回以内 (萌芽前は1回以内、 萌芽後は1回以内)
					種根定植後 ただし、萌 芽後～萌芽 後30日	
にら		5 kg/10 a	定植時	2回以内	作条土壌混和	1回
もりあざみ			は種時		土壌表面散布	2回以内
オクラ		6 kg/10 a	収穫開始30 日前まで	1回	全面土壌混和	1回
葉にんにく		9 kg/10 a	植付前			
ははこぐさ		6 kg/10 a	は種時又は 定植時	1回	全面土壌混和	1回
なずな			は種時			
はこべ			は種前			
こおにたびらこ		4 kg/10 a	は種時	1回	土壌表面散布	2回以内
ごま	は種前					
ごぼう	6 kg/10 a	は種時	1回	土壌表面散布	2回以内	
みつば	タネバエ	は種前				
モロヘイヤ	ネリムシ類	6 kg/10 a	定植時	土壌表面散布	2回以内	
さとうきび	ハリガネムシ類		定植時	土壌混和		

⑥ 3.0%ダイアジノン粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	
かんしょ	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a	作付前及び収穫30日前まで	3回以内	土壌混和	3回以内 (マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内)	
	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a	植付前	1回			
ばれいしょ						3回以内 (植付前の土壌混和は1回以内)	
キャベツ	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a	収穫30日前まで	2回以内		2回以内	
	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a				2回以内 (粒剤の生育期の処理は1回以内)	
カリフラワー ブロッコリー	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a	は種時又は植付時	1回		2回以内	2回以内
	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a					
レタス	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a	植付時	1回		2回以内	1回
	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a					
はくさい	ケラネムシ類	6 kg/10 a	は種時又は植付時	2回以内		2回以内	3回以内 (生育期は2回以内)
	カガネムシ類幼虫	5~6 kg/10 a					
トマト ピーマン とうがらし類	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a	植付時	1回		2回以内	2回以内
	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a					
きゅうり	タバエ	5~8 kg/10 a	は種時又は植付時	2回以内		2回以内	4回以内 (粒剤の生育期の処理は3回以内)
	ケラネムシ類 ウリハムシ幼虫	6~9 kg/10 a					
	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a					
すいか かぼちゃ メロン	タバエ	5~8 kg/10 a	植付時	1回	2回以内	3回以内 (粒剤の生育期の処理は2回以内)	
	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a					
	ウリハムシ幼虫 カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a					
なす	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a	は種時又は植付時	2回以内	2回以内	2回以内 (生育期は1回以内)	
	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a					
だいこん はつかだいこん	ケラネムシ類	6~9 kg/10 a	は種時	1回	2回以内	2回以内 (生育期は1回以内)	
	タバエ	5~8 kg/10 a					
	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a					
ねぎ わけぎ あさつき	タバエ	5~8 kg/10 a	は種時又は植付時	2回以内	2回以内	2回以内	
	カガネムシ類幼虫	5~10 kg/10 a					

⑥ 3.0%ダイアジノン粒剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	タネバエ ケラ コオロギ	5~8 kg/10 a	は種時又は 植付時	2回以内	土壌混和	2回以内
	タネバエ	3~5 kg/10 a				
いちご	カガムシ類幼虫	5~10 kg/10 a	植付時	1回		
		6~9 kg/10 a	植付時 (仮植床)			
豆類 (種実)	ケラ カガムシ類幼虫 タネバエ	5~9 kg/10 a	は種時			だいたいは6回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は5回以内(生育期の処理は4回以内))、あずきは4回以内(種子粉衣は1回以内、は種時の処理は1回以内、生育期の処理は3回以内)、いんげんまめは3回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)、らっかせいは1回、上記以外の豆類(種実)は4回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は3回以内)

⑦ 25.0%ダイアジノン・3.4%カスガマイシン・25.0%チウラム粉剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
豆類 (種実、ただし、 だいず、あずき、いんげんまめ、らっかせいを除く)	タネバエ 苗立枯(リゾクトニア菌)	種子重量の0.3~0.5%	は種前	1回	種子粉衣	4回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は3回以内)
だいず えだまめ	斑点細菌病	種子重量の0.3%				6回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は5回以内(生育期の処理は4回以内))
	タネバエ 苗立枯(リゾクトニア菌)	種子重量の0.3~0.5%				4回以内(種子粉衣は1回以内、は種時の処理は1回以内、生育期の処理は3回以内)
あずき	褐斑細菌病	種子重量の0.3%				
	タネバエ 苗立枯(リゾクトニア菌)	種子重量の0.3~0.5%				3回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)
いんげんまめ	かさ枯病	種子重量の0.3%				
	タネバエ 苗立枯(リゾクトニア菌)	種子重量の0.3~0.5%				

⑦ 25.0%ダイアジノン・3.4%カスガマイシン・25.0%チウラム粉剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
さやいんげん	かさ枯病	種子重量の0.3%	は種前	1回	種子粉衣	3回以内（種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内）
豆類 （未成熟、ただし、えだまめ、さやえんどう、実えんどう、さやいんげんを除く）	タネバエ 苗立枯（リゾクトニア菌）	種子重量の0.3～0.5%				
さやえんどう 実えんどう						6回以内（種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内、乳剤は3回以内）

⑧ 20.0%ダイアジノン・30.0%チウラム粉剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
いんげんまめ	タネバエ 立枯病（フザリウム菌） 立枯病（リゾクトニア菌） 立枯病（ヒシウム菌） 立枯病（コレティウム菌）	種子重量の0.3%	は種前	1回	種子に均一に粉衣する。	3回以内 （種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内）
あずき	タネバエ	種子重量の0.3～0.5%				4回以内（種子粉衣は1回以内、は種時の処理は1回以内、生育期の処理は3回以内）

⑨ 5.0%ダイアジノン・3.0%ベンフラカルブ粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
さとうきび	コガネムシ類 ハリガネムシ類	6 kg/10 a	植付時	1回	植溝土壌混和	2回以内

⑩ 3.0%ダイアジノン・1.0%メソミル粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
はくさい	ネリムシ類	4~6 kg/10 a	は種時	1回	作条土壌混和	1回
キャベツ			は種時、定植時及び生育初期 ただし、収穫30日前まで	2回以内		2回以内
レタス			植付時	1回		2回以内
リーフレタス		6 kg/10 a				
だいこん	ネリムシ類 キジノミムシ	4~6 kg/10 a	は種時	1回		2回以内 (生育期は1回以内)
かんしょ	コガネムシ類幼虫	6~9 kg/10 a	植付時及び生育期、ただし、収穫30日前まで	3回以内	植付時:作条処理土壌混和 生育期:作条処理	3回以内 (マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内)
	ハリガネムシ類	9 kg/10 a	植付時 ただし、収穫30日前まで	1回	作条処理土壌混和	
	ハスモントウナカシロシバ	4~6 kg/10 a	収穫30日前まで	2回以内	散布	
いちご	コガネムシ類幼虫	6~9 kg/10 a	植付時(仮植床)	1回	土壌混和	2回以内
にんじん	ネリムシ類	6 kg/10 a	は種前		全面処理土壌混和	2回以内(は種前及びは種時は合計1回以内、生育期は1回以内)

(2) 動物用医薬品としての海外での使用方法

① 200 g/Lダイアジノン液剤(豪州)

医薬品	病害虫	対象動物及び使用方法		使用国	休業期間
ダイアジノンを有効成分とする液剤	ハエ	羊	ハエウジ症の患部に5 mL/Lの水溶液を手当てする。	豪州	14日
	しらみ	山羊	5 mL/20 Lの水溶液をハンドスプレーする。		3日
		牛	250 mL/100 Lの水溶液をハンドスプレーする。		14日
		豚	5 mL/20 Lの水溶液をハンドスプレーする。		3日
	バッファローバエ	牛	500 mL/10 Lのオイル溶液を背中に塗布する。		

海外での使用方法の1例を示す。国内に動物用医薬品としての承認はない。

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

・ダイアジノン

② 分析法の概要

試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後、アセトニトリル/ヘキサン分配する。フロリジルカラムを用いて精製した後、アルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ (GC-FTD) 又は炎光光度型検出器 (リン用干渉フィルター) 付きガスクロマトグラフ (GC-FPD(P)) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、フロリジルカラム及びNH₂カラムで精製した後、アセトニトリル/ヘキサン分配し、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) 又はGC-FPD(P)で定量する。

または、試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、C₁₈カラム、フロリジルカラム及びNH₂カラム、C₁₈カラム、フロリジルカラム及びシリカゲルカラム、多孔性ケイソウ土カラム、フロリジルカラム及びNH₂カラム、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム及びフロリジルカラム、多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラム、多孔性ケイソウ土カラム及びシリカゲルカラム、C₁₈カラム及びフロリジルカラム、GPC及びグラファイトカーボンカラム、フロリジルカラム、グラファイトカーボン・PSA積層カラム、多孔性ケイソウ土カラム又はC₁₈カラムを用いて精製した後、GC-NPD、GC-FPD(P)、ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後、GC-FTD又はGC-FPD(P)で定量する。

または、試料からアセトン、アセトニトリル又はアセトン・ベンゼン (2 : 3) 混液で抽出し、*n*-ヘキサン、石油エーテル、ジクロロメタン、酢酸エチル・*n*-ヘキサン (1 : 4) 混液又はベンゼンに転溶した後、フロリジルカラム、シリカゲルカラム、グラファイトカーボン・PSA積層カラム又はフロリジルカラム及びグラファイトカーボンカラム、あるいはフロリジルカラム、シリカゲルカラム及びグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、GC-FTD又はGC-FPD(P)で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、塩析した後、グラファイトカーボン・PSA積層カラム及びフロリジルカラム又はグラファイトカーボン・PSA積層カラムを用いて精製した後、GC-FPD(P)又はLC-MS/MSで定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、ジクロロメタンに転溶した後、薄層クロマトグラフ (TLC) で分離してかき取り、アセトンで抽出してGC-FTDで定量する。

茶浸出液は、エチルエーテル又は*n*-ヘキサンで抽出し、必要に応じてフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-FTD又はGC-FPD(P)で定量する。

定量限界：0.001～0.02 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1を参照。

4. 魚介類における推定残留濃度

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数(BCF: Bioconcentration Factor)から、以下のとおり魚介類中の推定残留濃度を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田以外においてのみ使用されることから、ダイアジノンの非水田PECtier1^{注2)}を算出したところ、0.059 µg/Lとなった。

(2) 生物濃縮係数

ダイアジノン(第一濃度区: 0.04 mg/L、第二濃度区: 0.004 mg/kL)を用いた28日間の取込期間を設定したコイの魚類濃縮性試験が実施された。ダイアジノンの分析の結果から、BCFss^{注3)}は78 L/kg(第一濃度区)、65 L/kg(第二濃度区)と算出された。

(3) 推定残留濃度

(1)及び(2)の結果から、ダイアジノンの水産動植物被害予測濃度: 0.059 µg/L、BCF: 78 L/kgとし、下記のとおり推定残留濃度を算出した。

$$\text{推定残留濃度} = 0.059 \mu\text{g/L} \times (78 \text{ L/kg} \times 5) = 23 \mu\text{g/kg} = 0.023 \text{ mg/kg}$$

注1) 農薬取締法第4条第1項第8号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録基準設定における規定に準拠

注2) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出

注3) BCFss: 定常状態における被験物質の魚体中濃度と水中濃度の比で求められたBCF

(参考) 平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

・ダイアジノン

② 分析法の概要

試料からアセトン・水混液で抽出し、石油エーテル・ジクロロメタン混液に転溶した後、GC-FPD(P)で定量する。

または、試料からメタノールで抽出し、クロロホルムに転溶する。アルミナカラムを用いて精製し、GC-FPD(P)で定量する。

定量限界：0.01～0.02 mg/kg

(2) 家畜残留試験（動物飼養試験）

JMPRでは、1996年の評価書において動物飼養試験の概要を報告している。

① 乳牛における残留試験

乳牛（3頭/群）に対して、飼料中濃度として40、120及び400 ppmに相当する量のダイアジノンを含むカプセルを28～30日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるダイアジノンの濃度をGC-FPD(P)で測定した。乳については、投与期間中に採取した乳に含まれるダイアジノンの濃度をGC-FPD(P)で測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度（mg/kg）

	40 ppm 投与群		120 ppm 投与群	400 ppm 投与群
筋肉	<0.01		<0.01	0.01～0.02
脂肪	0.02～0.04(0.03)		0.07～0.1(0.08)	0.2～0.84(0.6)
肝臓	<0.01		<0.01	<0.01
腎臓	<0.01		<0.01	<0.01～0.01
乳	(<0.01)		(<0.01)	(0.03)

定量限界：0.01 mg/kg

()内：平均値

② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏（5羽/群）に対して、飼料中濃度として0.5、1.5及び5 ppmに相当する量のダイアジノンを含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるダイアジノンの濃度をGC-FPD(P)で測定した。卵については、投与期間中に採卵してダイアジノンの濃度をGC-FPD(P)で測定した。

その結果、筋肉、脂肪、肝臓及び卵において残留濃度はすべて定量限界以下（実質<0.02 mg/kg）であった。

(3) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和 51 年農林省令第 35 号）に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が暴露されうる飼料中の残留農薬濃度を算出した。

成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中に農薬が残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせるにより飼料中の最大飼料由来負荷 (MDB) ^{注1)} 及び平均的飼料由来負荷 (STMR dietary burden) ^{注2)} を算出した。MDB は乳牛において 0.031 ppm、肉牛において 0.013 ppm、産卵鶏において 0.008 ppm、肉用鶏において 0.007 ppm と推定された。また、STMR dietary burden は乳牛、肉牛、産卵鶏及び肉用鶏において、それぞれ 0.012 ppm、0.013 ppm、0.008 ppm 及び 0.007 ppm と推定された。

JMPR では乳牛及び産卵鶏における MDB 及び STMR dietary burden を評価していない。しかしながら、仮に乳牛と肉牛の飼料の最大乾物重量割合がとうもろこし茎葉飼料で 80%及び 40%、てんさい茎葉の葉で 10%及び 20%、りんごの搾りかすで 20%及び 40%であるならば、MDB は乳牛で 25 ppm、肉牛で 15 ppm を超えることはないであろうとしている。また、産卵鶏については、飼養試験におけるの用量と飼料負荷の関連性についての説明はないが、産卵鶏の飼料は最大 80%以上がとうもろこしであり、その残留濃度が <0.02 mg/kg 以下であることから、飼養試験の用量 0.5 ppm は十分な値と考えている。

注 1) 最大飼料由来負荷 (Maximum Dietary Burden : MDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注 2) 平均的飼料由来負荷 (STMR dietary burden 又は mean dietary burden) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

(4) 推定残留濃度

乳牛の MDB を 25 ppm、産卵鶏の MDB を 0.5 ppm として、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表 2 を参照。

表 2. 乳牛及び産卵鶏における推定残留濃度 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳	卵
乳牛	0.006	0.025	0.006	0.006	0.006	
産卵鶏	0.020	0.020	0.020			0.020

JMPR の 1996 年の評価書では、鶏の飼養試験の結果すべての臓器及び卵においてダイアジノンは定量限界以下であったことから、中央値(STMR)は 0 mg/kg としている。

また、国内の乳牛について求めた STMR dietary burden と家畜残留試験結果から、乳の平均的残留濃度を算出したところ、0.000 ppm となった。

(5) 動物用医薬品の対象動物における残留試験結果

JMPR の 1996 年の評価書では、牛、豚、羊及び山羊における外部寄生虫防除を目的とした多くの家畜残留試験が紹介されている。しかしながら、古いデータも多く、いくつかの試験の GAP が不明であったり、試験の信頼性に問題があることも指摘されている。以上を踏まえ、JMPR は総合的に選択、判断して、基準値(MRL)及び STMR を採用している。

表 3. 動物用医薬品の対象動物における各部位の MRL 及び STMR (mg/kg)

食品	推奨される MRL	STMR	休薬期間 (日)
牛、豚、羊及び山羊の肝臓	0.03	0.01	3
牛、豚、羊及び山羊の腎臓	0.03	0.01	3
牛、豚及び羊の肉	2 (脂肪)	0.3 (脂肪) 0.02 (筋肉)	3
山羊の肉	2 (脂肪)	0.3 (脂肪) 0.02 (筋肉)	3
乳	0.02	0.02	3

6. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号及び第2項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたダイアジノンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：0.1 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 慢性毒性/発がん性併合試験

（期間） 2年間

安全係数：100

ADI：0.001 mg/kg 体重/day

(参考)

細菌を用いたDNA修復試験の一部で弱い陽性の結果が得られたが、別のDNA損傷性をエンドポイントとするラット初代培養肝細胞を用いたUDS試験では陰性であった。また、*in vitro*で実施された染色体異常試験及び*in vivo*の小核試験の結果は陰性であったことから、ダイアジノンに生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。

(2) ARfD

無毒性量：2.5 mg/kg 体重

(動物種) ラット

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.025 mg/kg 体重

7. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価が行われ、2016年にADI及びARfDが設定されている。国際基準はとうもろこし、トマト等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において大豆、セロリ等に、カナダにおいてみかん、レタス等に、EUにおいてキャベツ、しょうが等に、豪州において小麦、かんしょ等に、ニュージーランドにおいて米、いちご等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

ダイアジノンとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質をダイアジノン（親化合物のみ）としている。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	36.1
幼小児 (1～6歳)	74.7
妊婦	32.4
高齢者 (65歳以上)	42.0

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1～6歳) のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量 (ARFD) を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙 4-1 及び 4-2 参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は STMR を用い、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成 22 年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTI を算出した。

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度 (暫定基準) が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
とうもろこし (乾燥子実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a散布	2	30, 45, 59, 106	圃場A:<0.005
					30, 45, 60, 109	圃場B:<0.005
とうもろこし (未成熟子実)	2	5.0%粒剤	9 kg/10 a散布	2	42, 49, 55	圃場A:<0.005(2回, 55日) (#) ^{注2)}
					36, 43, 50	圃場B:<0.005(2回, 50日) (#)
とうもろこし (未成熟子実)	5	5.0%粒剤	6 kg/10 a散布	2	7, 14, 21	圃場A:0.008 圃場B:0.005 圃場C:<0.005 圃場D:<0.005 圃場E:<0.005
	2				9 kg/10 a散布	2
だいず (乾燥子実)	2	3%粉剤	9 kg/10 a散布	3	43, 57	圃場A:0.002(3回, 43日) (#)
	1		3 kg/10 a散布	1	88	圃場B:0.002(3回, 15日) (#) 圃場A:0.003(#)
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和+散布	5 (1+4)	30	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
	2	25.0%粉剤	種子重量の0.5%種子粉衣	1	143 115	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
あずき (乾燥子実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	4	60 62	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
	2	20.0%粉剤 +5.0%粒剤	0.5%種子粉衣 +6 kg/10 a土壌表面散布	4 (1+3)	60	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
	2	25.0%粉剤	種子重量の0.5%種子粉衣	1	99 125	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
らっかせい (乾燥子実)	1	3%粉剤	6~9 kg/10 aは種前土壌混和 +生育期散布	4 (1+3)	74	圃場A:<0.002(#)
	2	3.0%粒剤	6~9 kg/10 aは種前土壌混和 +生育期散布	4 (1+3)	74	圃場A:<0.003(#)
			6~9 kg/10 a株元土壌混和	1, 2	57, 69	圃場B:<0.003(1回, 69日)
	2	25.0%マイクロカプセル剤	50倍100 L/10 a 全面土壌混和	1	129 135	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20.0%粉剤 +3%粉剤 +5.0%粒剤	0.3%湿粉衣 +8 kg/10 aは種時散布 +6 kg/10 a生育時散布	4 (1+1+2)	60	圃場A:<0.005(#) 圃場B:<0.005(#)
	2	20.0%粉剤 +5.0%粒剤	0.3%湿粉衣 +6 kg/10 aは種時散布 +生育時散布	4 (1+3)	60	圃場A:<0.005(#) 圃場B:<0.005(#)
ばれいしょ (塊茎)	4	5.0%粒剤 +40.0%乳剤	6 kg/10 a植付時土壌混和 +1000倍200 L/10 a散布	4 (1+3)	7, 14	圃場A:<0.001(4回, 7日) (#)
					7, 13	圃場B:0.001(4回, 7日) (#)
					7, 14	圃場C:<0.005(4回, 7日) (#)
					7, 14	圃場D:<0.005(4回, 7日) (#)
さといも (塊茎)	2	25.0%マイクロカプセル剤	50倍100 L/10 a 全面土壌混和	1	206	圃場A:<0.005
					196	圃場B:<0.005
	2				136	圃場A:<0.005
					154	圃場B:<0.005
	2		25倍100 L/10 a 全面土壌混和	1	153 166	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
かんしょ (塊根)	2	3%粉剤	6 kg/10 a植付時土壌混和 +生育時散布	4 (1+3)	50 82	圃場A:0.002(#) 圃場B:<0.001(#)
	2		5 kg/10 a散布	3	30	圃場A:<0.005(#) 圃場B:<0.005(#)
	2	5.0%粒剤	3 kg/10 a畦内土壌混和 +散布	3 (1+2)	27 11	圃場A:<0.001 圃場B:0.001(#)
	2		6 kg/10 a植付前土壌混和 +生育時土壌混和	4 (2+2)	30	圃場A:<0.005(#) 圃場B:<0.005(#)
	2	40.0%乳剤	5倍15 L/10 a土壌注入	3	30, 45, 60	圃場A:0.022(3回, 30日) (#) 圃場B:<0.005(3回, 30日) (#)
	2	25.0%マイクロカプセル剤	50倍100 L/10 a全面土壌混和	1	160	圃場A:<0.005
					161	圃場B:0.006
	2				25倍100 L/10 a全面土壌混和	1
2		25倍100 L/10 a全面土壌混和 +1000倍300 L/10 a散布	3 (1+2)	7	圃場A:<0.005(#) 圃場B:<0.005(#)	

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
やまのいも (塊茎)	2	25.0%マイクロカプセル剤	25倍100 L/10 a全面土壌混和	1	179	圃場A:<0.005
					204	圃場B:<0.005
さとうきび (茎部)	2	3%微粒剤	3~4 kg/10 a散布	2	101	圃場A:0.004(＃)
					151	圃場B:<0.002(＃)
	2	5.0%粒剤	15 kg/10 a植溝	1	251	圃場A:<0.001(＃)
					315	圃場B:0.001(＃)
	2	5.0%粒剤	15 kg/10 a植溝 +9 kg/10 a株元処理	2 (1+1)	239	圃場A:<0.001(＃)
					161	圃場B:0.001(＃)
	4	40.0%乳剤	800倍200 L/10 a散布	2	6, 14	圃場A:<0.001(2回, 14日)
					6, 13	圃場B:<0.001(2回, 13日)
2	40.0%乳剤	800倍200 L/10 a散布	4	7, 60, 90	圃場C:<0.005	
				7, 63, 92	圃場D:0.006(2回, 92日)	
だいこん (根部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a散布	3	14, 21, 28	圃場A:0.007(3回, 28日)(＃) 圃場B:0.015(3回, 21日)(＃)
					45	圃場A:<0.002(＃)
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種前土壌混和 +生育期散布	3 (1+2)	43	圃場B:<0.002(＃)
					21, 30	圃場A:<0.005(2回, 21日)(＃) 圃場B:<0.005(2回, 21日)(＃)
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時土壌混和 +生育期土壌表面散布	2 (1+1)	14, 21, 28	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
					10	圃場A:0.009(＃)
	2	45%水和剤	1000倍200 L/10 a散布	2, 4	7, 15	圃場B:<0.001(4回, 7日)(＃)
14, 21					圃場A:0.004(3回, 14日)(＃) 圃場B:0.006(4回, 21日)(＃)	
2	40.0%乳剤	1000倍200 L/10 a散布	3, 4	14, 21	圃場A:0.004(3回, 14日)(＃) 圃場B:0.006(4回, 21日)(＃)	
				14, 21, 30	圃場A:<0.005(2回, 21日)(＃) 圃場B:<0.005(2回, 21日)(＃)	
はつかだいこん (根部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時全面土壌混和 +生育期作条処理	2 (1+1)	14, 21, 30	圃場A:<0.005(2回, 21日)(＃) 圃場B:<0.005(2回, 21日)(＃)
だいこん (葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a散布	3	14, 21, 28	圃場A:0.560(3回, 21日)(＃) 圃場B:4.21(3回, 28日)(＃)
					45	圃場A:<0.002(＃)
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種前土壌混和 +生育期散布	3 (1+2)	43	圃場B:<0.002(＃)
					21, 30	圃場A:<0.005(2回, 21日)(＃) 圃場B:<0.005(2回, 21日)(＃)
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時土壌混和 +生育期土壌表面散布	2 (1+1)	14, 21, 28	圃場A:<0.005(2回, 21日)(＃) 圃場B:0.008(2回, 21日)(＃)
					10	圃場A:0.237(4回, 10日)(＃)
2	45%水和剤	1000倍200 L/10 a散布	2, 4	7, 15	圃場B:0.742(2回, 7日)(＃)	
				14, 21	圃場A:0.069(4回, 14日)(＃) 圃場B:2.26(4回, 14日)(＃)	
はつかだいこん (葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時全面土壌混和 +生育期作条処理	2 (1+1)	14, 21, 30	圃場A:<0.005(2回, 21日)(＃) 圃場B:<0.005(2回, 21日)(＃)
だいこん (つまみ菜)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	1	14, 16	圃場A:<0.002 圃場B:0.002
だいこん (間引菜)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時土壌混和 +生育期土壌表面散布	2 (1+1)	14	圃場A:<0.002(＃) 圃場B:<0.002(＃)
かぶ (根部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌表面散布 は種時+生育期	2 (1+1)	21, 30, 45	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
かぶ (葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌表面散布 は種時+生育期	2 (1+1)	21, 30, 45	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
はくさい (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	1	67	圃場A:<0.005
					78	圃場B:<0.005
	2	5.0%粒剤	2 g/株植穴土壌混和	1	94, 101	圃場A:<0.01(1回, 94日)(＃)
					61, 68	圃場B:<0.01(1回, 61日)(＃)
2	2%油剤 +5.0%粒剤	20 L/10 a点注処理 +6 kg/10 a土壌混和	2 (1+1)	58, 65	圃場A:<0.005(2回, 58日)(＃) 圃場B:<0.005(2回, 58日)(＃)	
				14	圃場A:0.038(＃) 圃場B:0.092(＃)	

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
キャベツ (葉球)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a散布	3	14, 21, 28 14, 21, 27	圃場A:0.002(3回, 28日) (#) 圃場B:0.001(3回, 27日) (#)
	2	34.0%水和剤	600倍130~200 L/10 a散布 慣行処理量散布	2	30 28	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
	2	40.0%乳剤	1000倍150~200 L/10 a散布	3	21, 30, 45	圃場A:<0.001(3回, 30日) (#) 圃場B:0.018(3回, 30日) (#)
	2		700倍70~200 L/10 a散布	2	30	圃場A:<0.005 (#) 圃場B:<0.005 (#)
	2	5.0%粒剤 +40.0%乳剤	2 g/株植穴土壌混和 +1000倍200 L/10 a散布	2 (1+1)	30, 37	圃場A:<0.01(2回, 30日) (#) 圃場B:<0.01(2回, 30日) (#)
	2	10.0%粒剤 +40.0%乳剤	5 kg/10 a定植時土壌混和 +1000倍200~250 L/10 a散布	2 (1+1)	21, 30, 45	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
こまつな (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌表面散布	1	44, 47, 54 25, 28, 35	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
	3	5.0%粒剤	6 kg/10 a全面土壌混和	1	21, 28, 35 17, 24, 31 38	圃場A:0.026(1回, 21日) 圃場B:0.027(1回, 17日) 圃場C:<0.01
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	2	30	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
カリフラワー (花蕾)	2	40.0%乳剤	600倍200~250 L/10 a散布	2	30	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	2	30 31	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
ブロッコリー (花蕾)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	2	30 31	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
	2	40.0%乳剤	600倍200 L/10 a散布	2	30	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
みずな (茎葉)	4	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌表面散布	1	24, 25 28	圃場A:0.003(1回, 24日) 圃場B:0.018
	52, 55, 62 20, 23, 30				圃場C:<0.005(1回, 52日) 圃場D:<0.005(1回, 20日)	
	2		12 kg/10 a土壌表面散布	1	24 28	圃場A:0.01 (#) 圃場B:0.027 (#)
	2		6 kg/10 a全面土壌混和	1	14, 21, 30, 45	圃場A:<0.01(1回, 14日) 圃場B:<0.01(1回, 14日)
ひろしまな (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a全面土壌混和	1	62, 69, 76	圃場A:<0.01(1回, 62日) 圃場B:<0.01(1回, 62日)
なばな (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a全面土壌混和	1	40, 47, 54 34, 41, 48	圃場A:<0.01(1回, 40日) 圃場B:<0.01(1回, 34日)
					53, 60, 67 54, 61, 68	圃場A:<0.01(1回, 53日) 圃場B:<0.01(1回, 54日)
はなっこりー (花蕾部)	2	5.0%粒剤	4 kg/10 a土壌混和	1	62, 69, 76 53, 60, 68	圃場A:<0.03(1回, 62日) 圃場B:<0.03(1回, 53日)
なずな (茎葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	1	166 130	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
ごぼう (根部)	2	5.0%粒剤	4 kg/10 a土壌混和	1	57 98	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
					14, 21, 28 14, 19, 27	圃場A:0.065(2回, 14日) (#) 圃場B:<0.001(2回, 14日) (#)
					46, 53, 60 41, 48, 55	圃場A:<0.005(3回, 46日) (#) 圃場B:<0.005(3回, 41日) (#)
レタス (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	2	14, 21, 28 14, 19, 27	圃場A:0.065(2回, 14日) (#) 圃場B:<0.001(2回, 14日) (#)
	2	2%油剤 +10.0%粒剤	20 L/10 a点注処理 +3 kg/10 a土壌混和 +生育期作条処理	3 (1+1+1)	46, 53, 60 41, 48, 55	圃場A:<0.005(3回, 46日) (#) 圃場B:<0.005(3回, 41日) (#)
サラダ菜 (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時及び定植時全面土 壌混和	2	45, 52, 59 15, 22, 29	圃場A:<0.005(2回, 45日) 圃場B:0.028(2回, 22日)
リーフレタス (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時及び定植時全面土 壌混和	2	48, 55, 62 22, 29, 36	圃場A:<0.005(2回, 48日) 圃場B:0.016(2回, 22日)
	2				6 kg/10 a土壌混和	1
	2	2%油剤 +10.0%粒剤	20 L/10 a点注処理 +3 kg/10 a土壌混和 +生育期作条処理	3 (1+1+1)	35, 42, 49 33, 40, 47	圃場A:<0.005(3回, 35日) (#) 圃場B:0.060(3回, 33日) (#)
こおにたびらこ (茎葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	1	73, 80, 87 53, 60, 68	圃場A:<0.025(1回, 73日) 圃場B:<0.025(1回, 53日)
ははこぐさ (茎葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	1	77, 84, 91 62, 69, 76	圃場A:<0.025(1回, 77日) 圃場B:<0.025(1回, 62日)
					30, 45, 59 30, 45, 60	圃場A:<0.01(3回, 30日) (#) 圃場B:<0.01(3回, 30日) (#)
ふき (葉柄)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌表面散布	3	30, 45, 59 30, 45, 60	圃場A:<0.01(3回, 30日) (#) 圃場B:<0.01(3回, 30日) (#)

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
ふきのとう (花蕾)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌表面散布	2	120, 147, 177	圃場A:<0.01 (2回, 147日) (#)
					120, 148, 173	圃場B:<0.01 (2回, 148日) (#)
もりあざみ (根部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌表面散布	1	140, 147, 154	圃場A:<0.005 (1回, 140日)
					139, 146, 153	圃場B:<0.005 (1回, 139日)
たまねぎ (鱗茎)	2	3%粉剤	9 kg/10 a 散布	2	21	圃場A:<0.005 (#)
					圃場B:<0.005 (#)	
	2	3%粒剤	5 kg/10 a 散布	1	161, 226	圃場A:<0.001 (1回, 161日) (#)
					215, 276	圃場B:<0.001 (1回, 215日) (#)
	2	40.0%乳剤	1000倍120~180 L/10 a 散布	2	20	圃場A:0.002
					21	圃場B:0.002
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌表面散布	2	30, 40	圃場A:<0.002 (2回, 30日) (#)
					35, 45	圃場B:0.001 (2回, 35日) (#)
2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	1	30	圃場A:<0.005	
				圃場B:<0.005		
2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 作条土壌混和	3	14, 21, 30	圃場A:<0.005 (3回, 21日) (#)	
				圃場B:<0.005 (3回, 21日) (#)		
2	5.0%粒剤 +40.0%乳剤	6 kg/10 a 定植時作条土壌混和 +700倍200 L/10 a 散布	3 (1+2)	14, 21, 30	圃場A:<0.005 (3回, 21日) (#)	
				圃場B:<0.005 (3回, 21日) (#)		
ねぎ (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	2	111	圃場A:<0.005
					85	圃場B:<0.005
	2	34.0%水和剤	600倍200~500 L/10 a 散布	2	21	圃場A:0.008
					圃場B:0.024 (#)	
2	40.0%乳剤	600倍200~400 L/10 a 散布	2	7, 21	圃場A:<0.005 (2回, 21日) (#)	
				6, 19	圃場B:<0.005 (2回, 19日)	
1		700倍191 L/10 a 散布	2	14, 21, 30	圃場A:0.006	
にんにく (鱗片)	2	34.0%水和剤	1000倍250 L/10 a 散布	3	14, 21, 28	圃場A:<0.01
					14, 21, 28	圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	5.0%粒剤	5 kg/10 a 土壌混和	1	173	圃場A:<0.01
					114	圃場B:<0.01
わけぎ (茎葉)	2	5.0%粒剤 +40.0%乳剤	6 kg/10 a 定植時作条土壌混和 +生育時作条土壌混和 +600倍240~300 L/10 a 散布	4 (1+1+2)	14, 21, 30	圃場A:<0.005 (4回, 21日) (#)
					圃場B:<0.005 (4回, 21日) (#)	
食用ゆり (鱗茎)	3	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	2	14, 21, 30	圃場A:<0.005 (2回, 30日) (#)
					14, 21, 30	圃場B:0.028 (2回, 30日) (#)
					21, 30, 45	圃場C:<0.005 (2回, 30日) (#)
葉たまねぎ (鱗茎・茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	2	95	圃場A:<0.01 (#)
					113	圃場B:<0.01 (#)
葉にんにく (茎葉)	2	5.0%粒剤	9 kg/10 a 土壌混和	1	138	圃場A:<0.01
					圃場B:<0.01	
らっきょう (鱗茎)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 散布	2	21, 30, 45	圃場A:0.02 (2回, 21日) (#)
					圃場B:<0.01 (2回, 21日) (#)	
にんじん (根部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 散布	1	162	圃場A:0.013 (#)
					128	圃場B:0.004 (#)
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	1	115	圃場A:<0.005
					87	圃場B:0.005
2	10.0%乳剤	4.5 kg/10 a は種時土壌混和 +出芽7日後土壌表面散布	2 (1+1)	49, 56, 63	圃場A:0.009 (2回, 63日) (#)	
				85, 92, 99	圃場B:<0.005 (2回, 85日) (#)	
みつば (茎葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	1	80, 87, 94	圃場A:<0.005 (1回, 80日)
					86, 93, 100	圃場B:<0.005 (1回, 86日)
トマト (果実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	3	10	圃場A:0.006
					圃場B:0.01	
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 定植時作条混和 +生育時作条処理軽く覆土	3 (1+2)	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.005 (3回, 14日)
					圃場B:<0.005 (3回, 14日)	
	2	40.0%乳剤	1000倍180~200 L/10 a 散布	1	1, 5, 10, 20, 21	圃場A:0.058 (1回, 1日)
圃場B:0.139 (1回, 1日)						
2	40.0%乳剤	1000倍180~200 L/10 a 散布	3	1, 5, 10, 20, 21	圃場A:0.098 (3回, 1日)	
					圃場B:0.033 (3回, 1日)	
2	2%油剤	20 L/10 a 点注処理	1	85, 92, 99	圃場A:<0.005 (1回, 85日) (#)	
					79, 86, 93	圃場B:<0.005 (1回, 79日) (#)
ピーマン (果実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	3	10	圃場A:<0.005
					圃場B:<0.005	
なす (果実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	3	3, 7	圃場A:<0.005
					圃場B:<0.005	
2	40.0%乳剤	1000倍200 L/10 a 散布	3	3, 7	圃場A:0.013	
					圃場B:0.012	

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
ししとう (果実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a植付時全面土壌混和 +生育期作条処理	3 (1+2)	1, 3, 8	圃場A:0.006 (3回, 8日) (#)
					1, 3, 7	圃場B:0.009 (3回, 7日) (#)
とうがらし (果実)	2	5.0%粒剤	10 kg/10 a定植作条土壌混和 +生育期作条処理	3 (1+2)	7, 14, 21	圃場A:<0.01 (3回, 14日) (#)
						圃場B:<0.01 (3回, 14日) (#)
きゅうり (果実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	2	33	圃場A:<0.005
					31	圃場B:<0.005
	2	40.0%乳剤	1000倍200 L/10 a散布	3	10, 15, 20	圃場A:0.012 (3回, 10日) (#)
					10, 31, 38	圃場B:0.007 (3回, 10日) (#)
	2	2%油剤	20 L/10 a点注処理	1	62, 69, 76	圃場A:<0.005 (1回, 62日) (#)
					56, 63, 70	圃場B:<0.005 (1回, 56日) (#)
	2	2%油剤 +5.0%粒剤	20 L/10 a点注処理 +6 kg/10 a土壌混和	2 (1+1)	29, 36, 43	圃場A:<0.005 (2回, 43日) (#)
					34, 41, 48	圃場B:<0.005 (2回, 48日) (#)
	2	17%蒸散剤	0.2 g/m ³	1, 3	1, 3, 7	圃場A:0.958 (3回, 1日) (#)
						圃場B:0.310 (3回, 1日) (#)
2	くん煙剤	1.5 g/10 m ³	3, 4	1, 3, 8	圃場A:0.020 (3回, 1日) (#)	
		1本/10 m ³		1, 3, 7	圃場B:0.058 (3回, 1日) (#)	
1	40.0%乳剤	1000倍250 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.644 (3回, 1日) (#)	
かぼちゃ (果実)	2	34.0%水和剤	600倍180~250 L/10 a散布	4	14, 21	圃場A:0.016
						圃場B:<0.01
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	4	14	圃場A:0.008 (#)
2	5.0%粒剤	6 kg/10 a定植時作条処理土壌混和 +生育期作条処理覆土	4 (1+3)	7, 14, 21	圃場B:<0.005 (#)	
					圃場A:<0.005	
しろうり (果実)	2	34.0%水和剤	600倍45~120 L/10 a散布	4	14	圃場A:<0.005
					13	圃場B:<0.005 (#)
すいか (果肉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a植付前土壌混和 +生育期散布	4	14	圃場A:<0.005 (#)
						圃場B:0.005 (#)
	2	40.0%乳剤	700倍85~200 L/10 a散布	4	14	圃場A:<0.005
2	40.0%乳剤	700倍散布	4	7, 14, 21	圃場B:<0.005	
					圃場A:<0.01	
					圃場B:<0.01	
すいか (果実)	2	5.0%粒剤 +40.0%乳剤	6 kg/10 a土壌混和 +1000倍200 L/10 a散布	4 (2+2)	14, 21	圃場A:<0.001
						圃場B:<0.001
	2	2%油剤 +25.0%マイクロカプセル剤 +5.0%粒剤	20 L/10 a点注処理 +50倍100 L/10 a全面土壌混和 +6 kg/10 a土壌混和	5 (1+1+3)	14, 21, 28	圃場A:<0.005 (5回, 14日) (#)
						圃場B:<0.005 (5回, 14日) (#)
2	2%油剤 +25.0%マイクロカプセル剤 +40.0%乳剤	20 L/10 a点注処理 +50倍100 L/10 a全面土壌混和 +700倍200 L/10散布	5 (1+1+3)	14, 21, 28	圃場A:<0.005 (5回, 14日) (#)	
					圃場B:<0.005 (5回, 14日) (#)	
メロン (果肉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	4	14	圃場A:<0.005
						圃場B:<0.005
	3	40.0%乳剤	700倍200~300 L/10 a散布	4	14, 21	圃場A:<0.01
						圃場B:<0.01
2	2%油剤 +25.0%マイクロカプセル剤 +5.0%粒剤	20 L/10 a点注処理 +50倍100 L/10 a全面土壌混和 +6 kg/10 a土壌混和3回	5 (1+1+3)	14, 21	圃場C:<0.01	
					圃場A:<0.005 (5回, 14日) (#)	
2	2%油剤 +25.0%マイクロカプセル剤 +40.0%乳剤	20 L/10 a点注処理 +50倍100 L/10 a全面土壌混和 +700倍200 L/10 a散布	5 (1+1+3)	14, 21	圃場B:<0.005 (5回, 14日) (#)	
					圃場A:<0.005 (#)	
メロン (果実)	3	40.0%乳剤	700倍200~300 L/10 a散布	4	14, 21	圃場A:0.18
						圃場B:0.22
						圃場C:0.03
ほうれんそう (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	1	30	圃場A:<0.005
					35	圃場B:<0.005
	2	40.0%乳剤	1000倍25~400 L/10 a散布	2	21, 28	圃場A:<0.005 (2回, 21日) (#)
					圃場B:0.008 (2回, 21日) (#)	
2	10.0%粒剤 +40.0%乳剤	5 kg/10 a土壌混和 +1000倍200 L/10 a散布	2 (1+1)	14, 21, 28	圃場A:0.022	
					圃場B:<0.01	

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
オクラ (果実)	3	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌表面散布	2	27	圃場A:<0.01
					55	圃場B:<0.01
					21, 30, 35	圃場C:<0.01
さやえんどう (さや)	2	5.0%粒剤	6 kg/kg 土壌混和	4	60	圃場A:<0.005 (#)
					圃場B:<0.005 (#)	
	2	40.0%乳剤	1000倍222~250 L/10 a 散布	3	7, 14	圃場A:0.010
さやいんげん (さや)	2	5.0%粒剤	6 kg/kg 土壌混和	2	60	圃場A:<0.005
					圃場B:<0.005	
	2	40.0%乳剤	1000倍200 L/10 a 散布	3	7, 14	圃場A:0.008
えだまめ (子実)	2	3%粉剤	9 kg/10 a 散布	3	14, 28	圃場A:<0.001 (3回, 14日) (#)
					2, 3	11
	2	25.0%粉剤	種子重量の0.5%種子粉衣	1	14, 28	圃場A:0.087 (3回, 14日) (#)
えだまめ (さや)	2	3%粉剤	9 kg/10 a 散布	3	14, 28	圃場A:0.087 (3回, 14日) (#)
					2, 3	11
	3	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和+散布	5 (1+4)	30	圃場A:<0.005
はこべ (茎葉部)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌混和	1	62, 69, 76	圃場A:<0.025 (1回, 62日)
					53, 60, 68	圃場B:<0.025 (1回, 53日)
	2	25.0%粉剤	種子重量の0.5%種子粉衣	1	78	圃場B:<0.01
たらんき (促成芽)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌表面散布 穂木養成期 出芽前+穂木養成期出芽後	2 (1+1)	188, 209, 224	圃場A:<0.005 (2回, 188日)
					189, 210, 225	圃場B:<0.005 (2回, 189日)
	2	3%粉剤	9 kg/10 a 散布	3	14, 28	圃場A:0.087 (3回, 14日) (#)
モロヘイヤ (茎葉)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a 土壌表面散布	1	39, 46, 53	圃場A:<0.01 (1回, 39日)
					圃場B:<0.01 (1回, 39日)	
	2	25.0%粉剤	種子重量の0.5%種子粉衣	1	102	圃場A:<0.01
りんご (果実)	2	3.0%粒剤	9 kg/10 a 土壌表面散布	6	55	圃場A:<0.005 (#)
					113	圃場B:<0.005 (#)
	2	5.0%粒剤	5~6 kg/10 a 散布	4, 6 3	59, 61	圃場A:<0.001 (4回, 61日) (#)
	2	34.0%水和剤	1000倍500 L/10 a 散布	6	14, 30	圃場B:0.001 (3回, 59日) (#)
	2	30%乳剤	1000倍500 L/10 a 散布	4	30, 45	圃場A:0.018 (6回, 30日) (#)
	2	20%乳剤	100倍20~30 L/10 a 樹幹部散布	4	21, 30	圃場B:0.076 (6回, 30日) (#)
日本なし (果実)	2	40.0%乳剤	1000倍500 L/10 a 散布	6	13, 22, 29	圃場A:0.033 (4回, 30日) (#)
					14, 22, 30	圃場B:0.026 (4回, 30日) (#)
	2	34.0%水和剤	1000倍400~500 L/10 a 散布	3	14, 21	圃場A:<0.01 (4回, 21日) (#)
もも (果肉)	2	34.0%水和剤	1000倍400~500 L/10 a 散布	4	1, 14	圃場A:<0.01 (4回, 21日) (#)
					圃場B:<0.01 (4回, 21日) (#)	
	2	40.0%乳剤	1000倍500 L/10 a 散布	3, 5	7, 14, 21	圃場A:0.020
もも (果皮)	2	40.0%乳剤	1000倍500 L/10 a 散布	3, 5	69, 73, 85, 89	圃場A:<0.01 (5回, 7日)
					33	圃場B:<0.01 (5回, 7日)
	2	20%乳剤	100倍300 L/10 a 散布	2, 4 5	69, 73, 85, 89	圃場A:0.004 (2回, 69日) (#)
もも (果皮及び種子を含む)	2	34.0%水和剤	1000倍400~500 L/10 a 散布	4	1, 14	圃場A:0.014 (#)
					圃場B:0.014 (#)	
	2	40.0%乳剤	1000倍500 L/10 a 散布	3, 5	7, 14, 21	圃場A:4.37
ネクタリン (果実)	2	34.0%水和剤	1000倍400~500 L/10 a 散布	4	1, 14	圃場A:2.76 (5回, 7日)
					圃場B:3.90 (5回, 7日)	
	2	20%乳剤	100倍300 L/10 a 散布	2, 4 5	69, 73, 85, 89	圃場B:0.010 (4回, 85日) (#)
もも (果皮及び種子を含む)	2	34.0%水和剤	1000倍400~500 L/10 a 散布	4	1, 14	圃場A:0.66 ^{注3)}
					圃場B:1.24 ^{注3)}	
ネクタリン (果実)	2	34.0%水和剤	1000倍400 L/10 a 散布	3	14, 21, 30, 45	圃場A:0.01 (3回, 30日)
					圃場B:0.01	

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
すもも (果実)	2	34.0%水和剤	1000倍400~500 L/10 a散布	4	7, 14, 21	圃場A:0.014
					6, 13, 20	圃場B:<0.005 (4回, 20日)
うめ (果実)	4	34.0%水和剤	1000倍500 L/10 a散布	2	21, 28	圃場A:<0.005
					21	圃場B:<0.005
	1	20%乳剤	100倍300 L/10 a散布	1	95	圃場C:<0.005
おうとう (果実)	2	34.0%水和剤	1000倍500 L/10 a散布	2	7, 14	圃場A:0.008
					10	圃場B:0.014
いちご (果実)	2	3.0%粒剤	10 kg/10 a植穴処理	1	210	圃場A:<0.001 (#)
					223	圃場B:<0.001 (#)
	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和仮植床+本圃	2 (1+1)	180	圃場A:<0.005
					145	圃場B:<0.005
	2	25.0%マイクロカプセル剤	50倍100 L/10 a仮植床 全面土壌混和	1	239	圃場A:<0.005
					232	圃場B:<0.005
	2	2%油剤	25倍100 L/10 a全面土壌混和	1	97, 104, 111	圃場A:<0.005 (1回, 97日)
					126, 133, 140	圃場B:<0.005 (1回, 97日)
	2	2%油剤 +25.0%マイクロカプセル剤	20 L/10 a点注処理	1	126, 133, 140	圃場A:<0.005 (1回, 126日) (#)
					144, 151, 158	圃場B:<0.005 (1回, 144日) (#)
2	2%油剤 +25.0%マイクロカプセル剤	20~20.9 L/10 a点注処理 +500倍1000 L/10 aボット灌注 +25倍100 L/10 a本圃土壌混和	3 (1+1+1)	89, 96, 103	圃場A:<0.005 (3回, 89日) (#)	
				61, 68, 75	圃場B:<0.005 (3回, 61日) (#)	
2	2%油剤 +25.0%マイクロカプセル剤 +5.0%粒剤	20~20.9 L/10 a点注処理 +500倍1000 L/10 a灌注 +6 kg/10 a本圃土壌混和	3 (1+1+1)	89, 96, 103	圃場A:<0.005 (3回, 89日) (#)	
				61, 68, 75	圃場B:<0.005 (3回, 61日) (#)	
ブルーベリー (果実)	2	5.0%粒剤	6 kg/10 a土壌混和	2	14, 21, 28	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
ぶどう (果実・大粒)	2	34.0%水和剤	1000倍300/10 a散布	2	7, 14, 21	圃場A:0.017 (2回, 21日) (#)
					14, 21, 30	圃場B:0.022 (2回, 21日) (#)
	1	20%乳剤	100倍250 L/10 a散布	1, 2	135	圃場A:<0.005 圃場B:0.008
ぶどう (果実・小粒)	2	34.0%水和剤	1000倍200 L/10 a散布	1	7, 14, 21	圃場A:0.29 (1回, 21日) (#)
					120	圃場B:0.514 (1回, 21日) (#)
1	20%乳剤	100倍250 L/10 a散布	1	120	圃場A:<0.004 (#)	
				14, 22	圃場B:<0.004 (#)	
かき (果実)	2	34.0%水和剤	1000倍400~500 L/10 a散布	5	14, 22	圃場A:0.060 (5回, 22日) (#)
					14, 21	圃場B:0.185 (5回, 21日) (#)
	2	1000倍500 L/10 a散布	4	46, 60	圃場A:<0.005 (4回, 46日)	
					42, 56	圃場B:<0.005 (4回, 56日)
白ごま (種実)	1	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時土壌混和	1	87, 94, 96	圃場A:<0.01
黒ごま (種実)	1	5.0%粒剤	6 kg/10 aは種時土壌混和	1	94, 99, 105	圃場A:<0.01
茶 (荒茶)	4	40.0%乳剤	1000倍1000 L/10 a散布	2	200	圃場A:<0.005 (#)
					33	圃場B:0.011 (#)
	1	2	1000倍200 L/10 a散布	1, 2	30, 60, 90	圃場C:0.005 (2回, 90日) (#)
					179, 186	圃場D:0.023 (2回, 90日) (#)
2	40.0%乳剤	1000倍1000 L/10 a散布	2	7, 14, 21, 7	圃場A:0.016 (2回, 7日) (#)	
				7, 15, 22, 7	圃場B:0.030 (2回, 7日) (#)	
茶 (浸出液)	2	40.0%乳剤	1000倍1000 L/10 a散布	2	200	圃場A:<0.005 (#)
					33	圃場B:<0.005 (#)
					7, 8, 14, 15, 21, 22	圃場A:<0.02 (1回, 7日) (#)
						圃場B:<0.02 (1回, 7日) (#)

ダイアジノンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 ^{注1)} (mg/kg)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
あさつき (茎葉)	2	5.0%粒剤 +40.0%乳剤	6 kg/10 a定植時全面土壌混和 +生育時作条土壌混和 +600倍200 L/10 a散布	4 (1+1+2)	14, 21, 30	圃場A:0.010(4回, 30日) (#) 圃場B:0.008(4回, 30日) (#)
畑わさび (花・花茎部)	2	3.0%粒剤	6 kg/10 a土壌散布	2	42, 56, 70, 84	圃場A:0.01(2回, 70日) (#) 圃場B:<0.01(2回70日) (#)
畑わさび (茎葉部)	2	3.0%粒剤	6 kg/10 a土壌散布	2	42, 56, 70, 84	圃場A:0.05(2回70日) (#) 圃場B:<0.01(2回70日) (#)
畑わさび (根・根茎部)	2	3.0%粒剤	6 kg/10 a土壌散布	2	42, 56, 70, 84	圃場A:0.05(2回70日) (#) 圃場B:<0.01(2回70日) (#)

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 果肉、果皮及び種子の重量比が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれ果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。また、種子の残留濃度は測定していないことから残留していないものとして算出した。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米（玄米をいう。）		0.1				
小麦		0.1				
大麦		0.1				
ライ麦		0.1				
とうもろこし	0.02	0.02	○	0.02		<0.005~0.008(n=5)注)
そば		0.1				
その他の穀類		0.1				
大豆	0.05	0.1	○			<0.01, <0.01
小豆類	0.1	0.4	○			<0.02, <0.02(あずき)
えんどう	0.1	0.1	○			(あずき参照)
そら豆	0.1	0.1	○			(あずき参照)
らっかせい	0.02	0.1	○			<0.005, <0.005
その他の豆類	0.1	0.1	○			(あずき参照)
ばれいしょ	0.02	0.1	○	0.01		<0.005, <0.005
さといも類（やつがしらを含む。）	0.02	0.1	○			<0.005, <0.005
かんしょ	0.03	0.1	○			<0.005, 0.006
やまいも（長いもをいう。）	0.02	0.4	○			<0.005, <0.005
こんにゃくいも		0.4				
その他のいも類		0.4				
てんさい	0.1	0.1		0.1		
さとうきび	0.03	0.1	○			<0.005, 0.006
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.1	0.1	○	0.1		
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.03	0.1	○			<0.005, 0.008(#)
かぶ類の根	0.05	0.1	○			<0.01, <0.01
かぶ類の葉	0.05	0.1	○			<0.01, 0.01
西洋わさび		0.1				
クレソン		0.1				
はくさい	0.05	0.1	○	0.05		
キャベツ	0.5	0.1	○	0.5		
芽キャベツ		0.1				
ケール	0.05	0.05		0.05		
こまつな	0.06	0.1	○			<0.01, 0.026, 0.027注)
きょうな	0.05	0.1	○			<0.005~0.018(\$)(n=4)
チンゲンサイ	0.06	0.1	○			(こまつな参照)
カリフラワー	0.02	0.1	○			<0.005, <0.005
ブロッコリー	0.5	0.1	○	0.5		
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.2	○	0.2		
ごぼう	0.05	0.1	○			<0.01, <0.01
サルシフィー		0.1				
アーティチョーク		0.1				
チコリ		0.1				
エンダイブ		0.1				
しゅんぎく		0.1				
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.5	0.1	○	0.5		
その他のきく科野菜	0.1	0.1	○			<0.025, <0.025(こおにたびらこ)
たまねぎ	0.05	0.05	○	0.05		
ねぎ（リーキを含む。）	0.1	0.1	○			0.008, 0.024(#)
にんにく	0.05	0.1	○			<0.01, <0.01
にら	0.05	0.1	○			<0.01, <0.01
アスパラガス		0.1				
わけぎ	0.02	0.1	○			<0.005, <0.005(#)
その他のゆり科野菜	1	0.1	○	1		
にんじん	0.5	0.5	○	0.5		
パースニップ		0.1				
パセリ		0.1				

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
セロリ みつば その他のせり科野菜	0.02	0.1 0.1 0.1	○			<0.005, <0.005
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜	0.5 0.05 0.05 0.5	0.1 0.1 0.1 0.1	○ ○ ○ ○	0.5 0.05 0.5		0.012, 0.013
きゅうり (ガーキンを含む。) かぼちゃ (スカッシュを含む。) しろうり すいか すいか (果皮を含む。) メロン類果実 メロン類果実 (果皮を含む。) まくわうり その他のうり科野菜	0.1 0.1 0.02 0.1 0.01 0.6 0.1 0.1	0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0.1 0.05 0.2 0.2		<0.01, 0.016(\$) <0.005, <0.005 <0.01, <0.01, <0.01注) 0.03, 0.18, 0.22注) <0.025, <0.025※1
ほうれんそう たけのこ オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	0.5 0.05 0.5 0.2 0.2 0.05	0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1	○ ○ ○ ○ ○ ○	0.5 0.2 0.2		<0.01, <0.01 <0.01, <0.01
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類		0.1 0.1 0.1				
その他の野菜	0.1	0.2	○			<0.025, <0.025 (はこべ)
みかん なつみかん なつみかんの外果皮 なつみかんの果実全体 レモン オレンジ (ネーブルオレンジを含む。) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実		0.1 0.1 0.1 0.1 0.5 0.1 0.7 0.1 0.1				
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.3 0.3 0.3 0.3 0.3	0.1 0.1 0.1 0.3 0.3	○ ○ ○ ○ ○	0.3 0.3 0.3 0.3		
もも もも (果皮及び種子を含む。) ネクタリン あんず (アプリコットを含む。) すもも (プルーンを含む。) うめ おうとう (チェリーを含む。)	2 0.05 0.1 1 0.02 1	0.1 0.1 0.1 1 0.1 0.1	○ ○ ○ ○ ○ ○	0.2 1		0.66, 1.24 0.01, 0.01 <0.005, 0.014(\$) (すもも参照) <0.005 (n=4)
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハックルベリー	0.1 0.2 0.1 0.05 0.2	0.1 0.2 0.1 0.1 0.1 0.1	○ ○ ○ ○ ○	0.1 0.2 0.1 0.2		<0.01, <0.01

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他のベリー類果実	0.2	0.2		0.2		
ぶどう	0.03	0.1	○			<0.005, 0.008
かき	0.3	0.1	○	0.3		
バナナ		0.1				
キウイ		0.2				
キウイ (果皮を含む。)	0.2			0.2		
パイナップル		0.1				
アボカド		0.1				
パイナップル	0.1	0.1		0.1		
グアバ		0.1				
マンゴー		0.1				
パッションフルーツ		0.1				
なつめやし		0.1				
その他の果実		0.1				
ひまわりの種子		0.1				<0.01, <0.01
ごまの種子	0.05	0.1	○			
べにばなの種子		0.1				
綿実		0.1				
なたね		0.1				
その他のオイルシード		0.1				
ぎんなん		0.1				
くり		0.1				
ペカン		0.1				
アーモンド	0.05	0.05		0.05		
くるみ	0.01	0.01		0.01		
その他のナッツ類		0.1				
茶 (不発酵茶に限る。)		0.1	○			<0.005, 0.023 (#)
茶 (不発酵茶を除く。)		0.1	○			
茶	0.1		○			
カカオ豆		0.05				
ホップ	0.5	0.5		0.5		
その他のスパイス (種子, 果実, 根及び根 茎を除く。)		0.2				
その他のスパイス	5			5		
その他のハーブ	0.5	0.2	○	0.5		
牛の筋肉	0.01	0.02				推:0.006 (牛の筋肉参照)
豚の筋肉	0.01	0.02				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.01	0.02				
牛の脂肪	0.03	2		2※2		推:0.025※3 (牛の脂肪参照) ※3
豚の脂肪	0.03	2		2※2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.03	2		2※2		
牛の肝臓	0.01	0.03		0.03※2		推:0.006※3 (牛の肝臓参照) ※3
豚の肝臓	0.01	0.03		0.03※2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01	0.03		0.03※2		
牛の腎臓	0.01	0.03		0.03※2		推:0.006※3 (牛の腎臓参照) ※3
豚の腎臓	0.01	0.03		0.03※2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01	0.03		0.03※2		
牛の食用部分		0.7				
豚の食用部分		0.7				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部 分		0.7				

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
乳	0.01	0.02		0.02※2		推:0.006※3
鶏の筋肉 その他の家さんの筋肉	0.02	0.02 0.05				(鶏の脂肪参照)
鶏の脂肪 その他の家さんの脂肪	0.02	0.02 0.05		0.02		
鶏の肝臓 その他の家さんの肝臓	0.02	0.02 0.05		0.02		
鶏の腎臓 その他の家さんの腎臓	0.02	0.02 0.05		0.02		
鶏の食用部分 その他の家さんの食用部分	0.02	0.02 0.05		0.02		
鶏の卵 その他の家さんの卵	0.02	0.02 0.02		0.02		
魚介類	0.03		申			推:0.023
すもも(乾燥させたもの) 乾燥させたその他のスパイス(果実に限る。) 乾燥させたその他のスパイス(種子に限る。) 乾燥させたその他のスパイス(根又は根茎に限る。)	2	2 0.1 5 0.5		2		

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値(暫定基準)については、網をつけて示した。申請(国内における登録、承認等の申請、インポート/トランス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#) これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(\$) これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

※1: その他のうり科野菜については、農林水産省からの緊急登録理由書に基づき、にがうりの残留濃度をきゅうりの作物残留試験の残留濃度の5倍の濃度とみなし、基準値を採用した。

※2: 外用の動物用医薬品として適用された場合の国際基準。

※3: 外用の動物用医薬品として適用された場合の国際基準については、長期暴露評価で許容範囲を超えることから、飼養試験の推定残留濃度から基準値を設定した。

注): OECDカリキュレーターを用いて基準値を算出した。

ダイアジノンの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

Table with 11 columns: 食品名, 基準値案 (ppm), 暴露評価に用いた数値 (ppm), 国民全体 (1歳以上) TMDI, 国民全体 (1歳以上) EDI, 幼児 (1~6歳) TMDI, 幼児 (1~6歳) EDI, 妊婦 TMDI, 妊婦 EDI, 高齢者 (65歳以上) TMDI, 高齢者 (65歳以上) EDI. Rows include various food items like とうもろこし, 大豆, 小豆類, etc.

ダイアジノンの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
茶	0.1	0.01	0.7	0.7	0.1	0.1	0.4	0.4	0.9	0.9
ホップ	0.5	◎ 0.24	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のスパイス	5	● 5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0
その他のハーブ	0.5	● 0.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.7	0.7
陸棲哺乳類の肉類	0.03	筋肉 0.006 脂肪 0.025	1.7	0.6	1.3	0.4	1.9	0.6	1.2	0.4
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.01	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.002	2.6	0.5	3.3	0.7	3.6	0.7	2.2	0.4
家さんの肉類	0.02	0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.3	0.0
家さんの卵類	0.02	0	0.8	0.0	0.7	0.0	1.0	0.0	0.8	0.0
魚介類	0.03	0.007	2.8	0.7	1.2	0.3	1.6	0.4	3.4	0.8
計			112.7	19.9	73.8	12.3	111.3	18.9	130.8	23.6
ADI比 (%)			204.5	36.1	447.1	74.7	190.3	32.4	233.1	42.0

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

◎: JMPRの評価書に記載の作物残留試験結果より求めたSTMRを用いた。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

てんさい、だいこん類(ラディッシュを含む。)の根、はくさい、キャベツ、ケール、ブロッコリー、その他のあぶらな科野菜、レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)、たまねぎ、その他のゆり科野菜、にんじん、トマト、その他のなす科野菜、きゅうり(ガーキンを含む。)、ほうれんそう、未成熟えんどう、未成熟いんげん、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)、すもも(プルーンを含む。)、おうとう(チェリーを含む。)、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー、その他のベリー類果実、かき、キウイ、パイナップル、アーモンド、くるみ、ホップ、肉類及び家禽の卵類については、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面(湖や河川)魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留濃度を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留濃度を0として算出した係数(0.31)を推定残留濃度に乘じた値を用いてEDI試算した。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

乳の暴露評価については国産/輸入の割合を考慮して精緻化を行った。暴露評価に用いる代表値 = 国内での資料中の残留濃度をもとに算出した乳の推定残留濃度(0.000 ppm) × 国産の割合(70%) + 国際機関で設定されている乳の推定残留濃度(0.006 ppm) × 輸入の割合(30%) = 0.002 ppm

もも(果皮及び種子を含む)については、作物残留試験における果肉の残留濃度を用いてEDI試算した。

ダイアジノンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.02	○ 0.008	0.1	0
大豆	大豆	0.05	○ 0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	0.1	○ 0.02	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.02	○ 0.005	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.02	○ 0.02	0.2	1
さといも類 (やつがしらを含む。)	さといも	0.02	○ 0.02	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.03	○ 0.03	0.4	2
やまいも (長いもをいう。)	やまいも	0.02	○ 0.02	0.2	1
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.1	◎ 0.08	0.9	4
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの葉	0.03	○ 0.03	0.2	1
かぶ類の根	かぶの根	0.05	○ 0.05	0.4	2
かぶ類の葉	かぶの葉	0.05	○ 0.05	0.1	0
はくさい	はくさい	0.05	◎ 0.05	0.6	2
キャベツ	キャベツ	0.5	◎ 0.35	3.3	10
ケール	ケール	0.05	◎ 0.05	0.4	2
こまつな	こまつな	0.06	○ 0.027	0.1	0
きょうな	きょうな	0.05	○ 0.018	0.1	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.06	○ 0.027	0.2	1
カリフラワー	カリフラワー	0.02	○ 0.02	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.5	◎ 0.23	1.4	6
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.2	◎ 0.12	0.9	4
	菜花	0.2	◎ 0.12	0.3	1
ごぼう	ごぼう	0.05	○ 0.05	0.2	1
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.5	◎ 0.15	0.8	3
たまねぎ	たまねぎ	0.05	◎ 0.04	0.3	1
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.1	○ 0.1	0.4	2
にんにく	にんにく	0.05	○ 0.05	0.0	0
にら	にら	0.05	○ 0.05	0.1	0
わけぎ	わけぎ	0.02	○ 0.02	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	1	◎ 0.65	1.2	5
	らっきょう	1	◎ 0.65	0.7	3
にんじん	にんじん	0.5	◎ 0.41	1.8	7
	にんじんジュース	0.5	○ 0.007	0.0	0
みつば	みつば	0.02	○ 0.02	0.0	0
トマト	トマト	0.5	◎ 0.48	5.3	20
ピーマン	ピーマン	0.05	○ 0.05	0.1	0
なす	なす	0.05	○ 0.05	0.3	1
その他のなす科野菜	とうがらし (生)	0.5	○ 0.5	0.8	3
	ししとう	0.5	○ 0.5	0.5	2
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.1	◎ 0.1	0.6	2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.1	○ 0.016	0.2	1
	ズッキーニ	0.1	○ 0.016	0.1	0
しろうり	しろうり	0.02	○ 0.02	0.2	1
すいか (果皮を含む。)	すいか	0.01	○ 0.01	0.3	1
メロン類果実 (果皮を含む。)	メロン	0.6	○ 0.22	3.7	10
その他のうり科野菜	とうがん	0.1	○ 0.025	0.4	2
	にがうり	0.1	○ 0.025	0.2	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.5	◎ 0.37	1.8	7
オクラ	オクラ	0.05	○ 0.05	0.1	0
しょうが	しょうが	0.5	○ 0.5	0.5	2
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.2	◎ 0.15	0.2	1
	未成熟えんどう (豆)	0.2	◎ 0.15	0.3	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.2	◎ 0.15	0.3	1
えだまめ	えだまめ	0.05	○ 0.05	0.1	0
その他の野菜	ずいき	0.1	○ 0.1	1.0	4
	もやし	0.1	○ 0.1	0.2	1
	れんこん	0.1	○ 0.1	0.6	2
	そら豆 (生)	0.1	○ 0.1	0.3	1

ダイアジノンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
りんご	りんご	0.3	◎ 0.24	3.4	10
	りんご果汁	0.3	◎ 0.0004	0.0	0
日本なし	日本なし	0.3	◎ 0.24	3.6	10
西洋なし	西洋なし	0.3	◎ 0.24	3.4	10
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	0.3	◎ 0.24	1.7	7
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	2	○ 0.5	6.8	30
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	◎ 0.78	4.6	20
うめ	うめ	0.02	○ 0.005	0.0	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	1	◎ 0.73	1.8	7
いちご	いちご	0.1	◎ 0.1	0.4	2
ブルーベリー	ブルーベリー	0.05	◎ 0.05	0.1	0
ぶどう	ぶどう	0.03	◎ 0.03	0.4	2
かき	かき	0.3	◎ 0.24	3.4	10
キウイ（果皮を含む。）	キウイ	0.2	◎ 0.19	1.1	4
パイナップル	パイナップル	0.1	◎ 0.07	1.0	4
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.01	0.0	0
アーモンド	アーモンド	0.05	◎ 0.01	0.0	0
くるみ	くるみ	0.01	◎ 0.01	0.0	0
茶	緑茶類	0.1	○ 0.01	0.0	0
ホップ	ホップ	0.5	◎ 0.24	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

◎：JMPR評価書に記載の作物残留試験結果より求めたHRを用いて短期摂取量を推計した。

もも（果皮及び種子を含む）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

ダイアジノンの推定摂取量（短期）：幼小児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.02	○ 0.008	0.2	1
大豆	大豆	0.05	○ 0.01	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.02	○ 0.005	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.02	○ 0.02	0.5	2
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.02	○ 0.02	0.3	1
かんしょ	かんしょ	0.03	○ 0.03	0.8	3
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.02	○ 0.02	0.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.1	◎ 0.08	1.7	7
はくさい	はくさい	0.05	◎ 0.05	0.8	3
キャベツ	キャベツ	0.5	◎ 0.35	5.5	20
こまつな	こまつな	0.06	○ 0.027	0.2	1
ブロッコリー	ブロッコリー	0.5	◎ 0.23	3.3	10
ごぼう	ごぼう	0.05	○ 0.05	0.3	1
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	レタス類	0.5	◎ 0.15	1.5	6
たまねぎ	たまねぎ	0.05	◎ 0.04	0.7	3
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.1	○ 0.1	0.6	2
にんにく	にんにく	0.05	○ 0.05	0.0	0
にら	にら	0.05	○ 0.05	0.1	0
にんじん	にんじん	0.5	◎ 0.41	4.3	20
トマト	トマト	0.5	◎ 0.48	13.0	50
ピーマン	ピーマン	0.05	○ 0.05	0.3	1
なす	なす	0.05	○ 0.05	0.8	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.1	◎ 0.1	1.5	6
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.1	◎ 0.016	0.3	1
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.01	○ 0.01	0.9	4
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.6	○ 0.22	6.4	30
ほうれんそう	ほうれんそう	0.5	◎ 0.37	4.2	20
オクラ	オクラ	0.05	○ 0.05	0.2	1
しょうが	しょうが	0.5	○ 0.5	0.7	3
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.2	◎ 0.15	0.2	1
	未成熟えんどう（豆）	0.2	◎ 0.15	0.3	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.2	◎ 0.15	0.6	2
えだまめ	えだまめ	0.05	○ 0.05	0.1	0
その他の野菜	もやし	0.1	○ 0.1	0.4	2
	れんこん	0.1	○ 0.1	1.0	4
りんご	りんご	0.3	◎ 0.24	7.7	30
	りんご果汁	0.3	◎ 0.0004	0.0	0
日本なし	日本なし	0.3	◎ 0.24	6.9	30
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	2	○ 0.5	21.2	80
うめ	うめ	0.02	○ 0.005	0.0	0
いちご	いちご	0.1	◎ 0.1	1.1	4
ぶどう	ぶどう	0.03	○ 0.03	0.9	4
かき	かき	0.3	◎ 0.24	5.0	20
パイナップル	パイナップル	0.1	◎ 0.07	2.2	9
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.01	0.0	0
茶	緑茶類	0.1	○ 0.01	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

◎：JMPR評価書に記載の作物残留試験結果より求めたHRを用いて短期摂取量を推計した。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

昭和35年	2月28日	初回農薬登録
平成15年	7月1日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに清涼飲料水の規格基準改正に係る食品健康影響評価について要請
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成25年	4月9日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに清涼飲料水の規格基準改正に係る食品健康影響評価について取り下げ
平成20年	7月30日	農林水産省から厚生労働省へ基準値設定依頼（魚介類）
平成20年	8月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年	3月12日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成26年	8月19日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年	5月24日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	12月12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和元年	9月2日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和元年	9月3日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 穂山 浩 国立医薬品食品衛生研究所食品部長
- 石井 里枝 埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
- 井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授
- 大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所化学部長
- 折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園麻布大学獣医学部生理学教授
- 魏 民 公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科
環境リスク評価学准教授
- 佐々木 一昭 国立大学法人東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
- 佐藤 清 元 一般財団法人残留農薬研究所理事
- 佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
- 瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
- 永山 敏廣 学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
- 根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
- 二村 睦子 日本生活協同組合連合会組織推進本部長
- 宮井 俊一 元 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
- 吉成 浩一 静岡県公立大学法人静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

(○：部会長)

答申（案）

ダイアジノン

食品名	残留基準値 ppm
とうもろこし	0.02
大豆	0.05
小豆類 ^{注1)}	0.1
えんどう	0.1
そら豆	0.1
らっかせい	0.02
その他の豆類 ^{注2)}	0.1
ばれいしょ	0.02
さといも類（やつがしらを含む。）	0.02
かんしょ	0.03
やまいも（長いもをいう。）	0.02
てんさい	0.1
さとうきび	0.03
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.03
かぶ類の根	0.05
かぶ類の葉	0.05
はくさい	0.05
キャベツ	0.5
ケール	0.05
こまつな	0.06
きょうな	0.05
チンゲンサイ	0.06
カリフラワー	0.02
ブロッコリー	0.5
その他のあぶらな科野菜 ^{注3)}	0.2
ごぼう	0.05
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	0.5
その他のきく科野菜 ^{注4)}	0.1
たまねぎ	0.05
ねぎ（リーキを含む。）	0.1
にんにく	0.05
にら	0.05
わけぎ	0.02
その他のゆり科野菜 ^{注5)}	1
にんじん	0.5
みつば	0.02

食品名	残留基準値 ppm
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜 ^{注6)}	0.5 0.05 0.05 0.5
きゅうり（ガーキンを含む。） かぼちゃ（スカッシュを含む。） しろうり すいか（果皮を含む。） メロン類果実（果皮を含む。） その他のうり科野菜 ^{注7)}	0.1 0.1 0.02 0.01 0.6 0.1
ほうれんそう オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	0.5 0.05 0.5 0.2 0.2 0.05
その他の野菜 ^{注8)}	0.1
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.3 0.3 0.3 0.3 0.3
もも（果皮及び種子を含む。） ネクタリン あんず（アプリコットを含む。） すもも（プルーンを含む。） うめ おうとう（チェリーを含む。）	2 0.05 0.1 1 0.02 1
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー その他のベリー類果実 ^{注9)}	0.1 0.2 0.1 0.05 0.2 0.2
ぶどう かき	0.03 0.3

食品名	残留基準値 ppm
キウイー（果皮を含む。）	0.2
パイナップル	0.1
ごまの種子	0.05
アーモンド	0.05
くるみ	0.01
茶	0.1
ホップ	0.5
その他のスパイス ^{注10)}	5
その他のハーブ ^{注11)}	0.5
牛の筋肉	0.01
豚の筋肉	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注12)} の筋肉	0.01
牛の脂肪	0.03
豚の脂肪	0.03
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.03
牛の肝臓	0.01
豚の肝臓	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01
牛の腎臓	0.01
豚の腎臓	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01
乳	0.01
鶏の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.02
鶏の肝臓	0.02
鶏の腎臓	0.02
鶏の食用部分	0.02
鶏の卵	0.02
魚介類	0.03
すもも（乾燥させたもの）	2

注1)「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注2)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注3)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類(ラディッシュを含む。)の根、だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注4)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)及びハーブ以外のものをいう。

注5)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ(リーキを含む。)、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注6)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注7)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり(ガーキンを含む。)、かぼちや(スカッシュを含む。)、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注8)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注10)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注11)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注12)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。